

1. 科目名 (単位 数)	教育方法論 (中等) (2単位)	3. 科目番号	SSMP2447 SNMP2447						
2. 授業担当教員	深沢 和彦		SCMP2447 SBMP2447 EDTS2104						
4. 授業形態	講義、演習 (視聴覚教材の鑑賞、問題解決のためのグループワーク・ ロールプレイングなどを含む)	5. 開講学期	春期						
6. 履修条件・ 他科目との関係									
7. 講義概要	「学習指導要領」の改訂により、各教科、総合的な学習の時間等の授業改善が求められている今日、教師は「よりよい授業づくり」のために、さまざまな教育方法を学ぶことが求められています。この授業では、基本的な指導方法・学習方法について説明するとともに、その方法の効果・問題点を整理し、教育実習時の授業場面に役立つ教育の(方法)を身につけることを目的とします。具体的には、授業場面の事例をもとに、(方法)への理解を深めると同時に、その工夫・改善のあり方について検討します。その上で、グループワークによる「模擬授業」を実施し、「授業づくり」の過程におけるPDCAサイクル(Plan [企画]-Do [実行]-Check [評価]-Action [改善])を体験的に学びます。								
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 中学校・高等学校教諭等を目指す学生に求められる基本的な教授学習理論を理解し、重要な用語について説明することができる。</li> <li>2. 基本的な指導方法・学習方法を理解した上で、「模擬授業」において実際にその方法論にもとづいた指導案を作成し、授業を展開することができる。</li> <li>3. 自ら実施した(あるいは他の受講生が実施した)「模擬授業」の問題点を検討し、次の授業に生かすことができる。</li> </ol>								
9. アサイメント (宿題)及びレポート課題	指示された予習課題や探究的課題に主体的に取り組むこと。対話型の学習により理解を確実にすることで問題解決に対する力量を養うように努めること。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 授業ごとに配付するワークシート(レポートを兼ねる)の提出</li> <li>2) 学習指導案の作成と提出</li> <li>3) 模擬授業の実践</li> </ol>								
10. 教科書・参考 書・教材	<b>【教科書】</b> 田中耕治・鶴田清司・橋下美保・藤村宣之『新しい時代の教育方法 改訂版』有斐閣アルマ、2019年 <b>【参考書】</b> 中学校学習指導要領(平成29年3月告示 文部科学省) 高等学校学習指導要領(平成30年3月告示 文部科学省) 生徒指導提要(平成22年3月告示 文部科学省) その他必要に応じてプリントを配布する。								
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 基本的な教授学習理論を理解し、専門教科の授業づくりに生かし、模擬授業を実践し、授業改善に結びつけることができる。 ○評定の方法 <table border="0"> <tr> <td>1 日常の授業態度(参加態度、発表・発言、学習状況等)</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>2 課題レポート</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>3 期末試験</td> <td>30%</td> </tr> </table>			1 日常の授業態度(参加態度、発表・発言、学習状況等)	40%	2 課題レポート	30%	3 期末試験	30%
1 日常の授業態度(参加態度、発表・発言、学習状況等)	40%								
2 課題レポート	30%								
3 期末試験	30%								
12. 受講生への メッセージ	皆さんが小学校・中学校・高等学校の学校段階で積み重ねてきた「授業体験」を振り返ってください。この授業ではさまざまな教育の方法について学びます。皆さんの授業の体験とこの授業での学びを結びつけ、各自がめざす「良い授業」について考えてください。常に「良い授業」を考えて実践できる教師をめざしてください。 <b>【学生に期待すること】</b> 受講生の皆さんは、上記のような目的を達成するために下記の内容に留意してください。 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 教師と受講生、受講生同士のコミュニケーションが学びの質を高めます。グループワークには積極的に取り組み、課題意識をもって臨んでください。</li> <li>② 授業に臨むにあたって無断欠席、遅刻、早退、無断退席をしないでください。(欠席、遅刻、早退をした場合は、その理由を必ず教員に書面にて報告してください。正当な理由であっても、必要な時間数に不足する場合は不合格となります。)</li> <li>③ 明らかに授業態度が悪いと判断された際は、厳格な指導を行います。指導後も授業態度の改善が見られないと判断された場合、試験の答案内容の如何にかかわらず、不合格となります。</li> <li>④ 授業中、飲食、私語、居眠りはしないでください。</li> <li>⑤ 授業中は携帯電話等の携帯端末の電源を切ってカバンにしまってください。</li> </ol>								
13. オフィスアワー	初回講義時に通知する								
14. 授業展開及び授業内容									
講義日程	授業内容	学習課題							
第1回	オリエンテーション -授業の進め方・教育方法論を学ぶ意義-	事前学習	教科書「序章」(pp.1~8)を読んでおく。						
		事後学習	教育方法を学ぶ意義について考え、整理する。授業後感想の提出。						
第2回	西洋における教育思想と教育方法(第1章前半-近代の教育思想と教育方法-)	事前学習	教科書「第1章」1・2(pp.11~29)を読み、分からない部分をチェックしておく。						
		事後学習	授業内容やグループ討議で話し合ったことをまとめ、授業後感想として提出。分からないところがあれば教員に質問する。						
	西洋における教育思想と教育方法(第1章後半-現代の	事前学習	教科書「第1章」3(pp.29~41)を読み、分						

第3回	教育思想と教育方法―)		からない部分をチェックしておく。
		事後学習	授業内容やグループ討議で話し合ったことをまとめ、授業後感想として提出。分からなかったところがあれば教員に質問する。
第4回	子どもは何を学ぶか (第4章)	事前学習	教科書「第4章」(pp.103～120)を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	授業内容やグループ討議で話し合ったことをまとめ、授業後感想として提出。分からなかったところがあれば教員に質問する。
第5回	学習とは何か (第5章)	事前学習	教科書「第5章」(pp.121～141)を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	授業内容やグループ討議で話し合ったことをまとめ、授業後感想として提出。分からなかったところがあれば教員に質問する。
第6回	学力をどう高めるのか (第6章)	事前学習	教科書「第6章」(pp.143～168)を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	授業内容やグループ討議で話し合ったことをまとめ、授業後感想として提出。分からなかったところがあれば教員に質問する。
第7回	授業をどうデザインするか (第7章)	事前学習	教科書「第7章」(pp.169～200)を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	授業内容やグループ討議で話し合ったことをまとめ、授業後感想として提出。分からなかったところがあれば教員に質問する。
第8回	教育の道具・素材・環境を考える (第8章)	事前学習	教科書「第8章」(pp.201～222)を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	授業内容やグループ討議で話し合ったことをまとめ、授業後感想として提出。分からなかったところがあれば教員に質問する。
第9回	何をどう評価するのか (第9章)	事前学習	教科書「第9章」(pp.223～244)を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	授業内容やグループ討議で話し合ったことをまとめ、授業後感想として提出。分からなかったところがあれば教員に質問する。
第10回	学習指導案の作成 *グループ毎に学習指導案(略案)を作成	事前学習	配付資料「学習指導案の実際」を熟読してこ
		事後学習	学習指導案の様式について理解し、学習指導案(略案)を作成する。授業後感想の提出。
第11回	模擬授業の打ち合わせと練習 *グループ毎に練習	事前学習	配付資料「基本の授業技術」を熟読してこ
		事後学習	基本的な授業技術について理解し、個々に練習し、身に付ける。授業後感想の提出。
第12回	グループワークによる模擬授業(英語科)	事前学習	模擬授業の準備と予行演習をする。情報機器の活用について検討する。
		事後学習	グループで実施した模擬授業の問題点を検討し、他の受講生から得たことを含め、自らの学習指導案(略案)の改善をする。授業後感想の提出。
第13回	グループワークによる模擬授業(公民科・福祉科)	事前学習	模擬授業の準備と予行演習をする。情報機器の活用について検討する。
		事後学習	グループで実施した模擬授業の問題点を検討し、他の受講生から得たことを含め、自らの学習指導案(略案)の改善をする。
第14回	グループワークによる模擬授業(情報科・保健科)	事前学習	模擬授業の準備と予行演習をする。情報機器の活用について検討する。
		事後学習	グループで実施した模擬授業の問題点を検討し、他の受講生から得たことを含め、自らの学習指導案(略案)の改善をする。授業後感想を提出。
第15回	どのような教師をめざすべきか(11章)	事前学習	教科書「第11章」(pp.263～285)を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	全15回の授業内容について整理し、筆記試験の準備を行う。授業後感想を提出。
期末試験			